



「想い」の分かちあいが生む 新たなつながり

1月21日(土)に開催した、たがさぼの5回連続講座「TAGAJO Future Labo 2nd season」の最終回・「マイアプローチ発表会」。受講生のみなさんが、これまで4回の講座で深めてきた「地域で何かしたい」という想いやアクションプランを発表しました。発表のあとにいただいたアドバイスや感想も参考にして、今後それぞれ自分のできるところから取り組みを進めていきます。

また、一般参加のみなさんからも「いろんな取り組みがあってすごい」「自分も何か考えてみたい」などの感想が聞かれ、多くの気づきが得られたとともに、自らも想いを膨らませるきっかけになったようです。



この日は4名の受講生が発表。欠席の方も、事前に撮った動画やスタッフがプランを代読する形で発表しました。

発表テーマ

TAGAJO
Future
Labo

- ・子どもを描く画家
- ・子育て円まんサロン
- ・自分が作った文章で情報を発信したい
- ・写真を介した地域活動 - 写真で人に喜びを、子どもたちの表現の場を -
- ・きらり☆ママ TERRACE
- ・今日の食から未来へつなぐ



ゲスト
トーク
も開催!

アドバイザー
からの助言!



トークゲストは、多賀城の株式会社 season 代表の渡邊晃さん。福祉の世界に飛び込んだきっかけや、介護と保育が一緒になった施設「さくらビレッジ」での取り組みを話していただきました。

プログラムアドバイザーの久保田靖朗さん(合同会社 flurid 代表)。この日も受講生の発表に、熱く的確なアドバイスをいただきました。

交流会



発表会終了後の
交流会の様子。

会場のあちこちで話が盛り上がり、さらに新しい何かが生まれる予感も。

「TAGAJO Future Labo 2nd season」
これまでのあゆみは「裏面」をご覧ください。

たがさぼ Press もご覧ください! ● 「マイアプローチ発表会」を開催しました! 2017年2月3日(金)掲載

ヒント from “たがさぼ Press”
たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● 自動販売機で社会貢献 2017年1月24日(火)掲載
飲み物の代金のうち、一定の額が寄付に回る自動販売機を設置する取り組みをご紹介します。のどを潤すことのできる社会貢献、していませんか。

● 「ここに住んでよかった」と思えるように 2017年2月2日(木)掲載
日ごころから住民同士がつながり、支えあえる温かい地域にしたいという想いから、富谷市成田地区で結成された「Narita マルシェ」の活動をご紹介します。

● 障がいのある女性も快適に過ごしたい! 2017年2月9日(木)掲載
一般社団法人「ハッピーパンツ・ジャパン」は、障がいのある女性の生理用品や生理ケアに関する課題の解決を目指して設立されました。

“たがさぼ Press”とは?
たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼ Press へ! *ケータイ、スマホからご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ
たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

tag 配架先募集のお知らせ

たがさぼでは、多賀城市内およびその周辺で「tag」を置いていただけるお店や施設を募集しています。枚数は5~20枚程度で、送料はたがさぼが負担いたします。お客さんや利用者の方にもっと多賀城のことを知ってもらいたい、地域に密着したお店・施設にしたいという方はぜひご連絡ください。

これまでの配架先例

コンビニ	スーパー	病院
福祉施設	飲食店	銀行



連絡先 | 022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)

想いをかたちに、そしてアクションへ

たがさぼ講座「TAGAJO Future Labo 2nd season」。「地域で何かに取り組みたい…でもどうやって？」という想いを持つ方を対象に、5回のプログラムを通して一歩ふみ出すきっかけづくりを行いました。今年度の講座をふりかえりつつ、想いをかたちにするポイントについて考えます。

「TAGAJO Future Labo 2nd season」のあゆみ

1回目

2016年
7月16日(土)

「想いを描くワークショップ」 @多賀城

はじめに、受講生ひとりひとりが自分の内面を掘り下げつつ、「こんなことをしたい」という想いを書き出しました。その後、小グループに分かれての自己紹介、相互インタビューなどを通して、「自分」を言葉にして伝えました。

プログラムアドバイザーの久保田朗さん(合同会社タガ)も、七ヶ浜などの取り組みについて語っていただきました。



ワークショップの最後には、自分の想いを全員に向けて発表しました。最初は緊張気味でしたが、話が進むにつれて打ち解けていきました。

詳しくは「たがさぼ Press 2016年7月24日(日)」

2回目

2016年
9月17日(土)

「一歩先行く地域のパイオニアへ エクスカージョン」@七ヶ浜・利府

「エクスカージョン」とは「体験型見学会」のことで、すでに活動している方の現場を訪問しお話を伺いました。現在だけでなく、活動のきっかけや今に至る過程などが聞けて、受講生にとっても参考になりました。

七ヶ浜ではセラピストの十色めぐみさんによる、活動をはじめたきっかけや地元との関わり方などについての説明。後半は、自分の想いを整理する時間もつくっていただきました。



利府町西部児童館館長の高橋和恵さんとの出会いの大切さや、好きなことに取り組むことから本業にのめり込めどが見えてくる」とのお話をいただきました。

詳しくは「たがさぼ Press 2016年10月3日(月)」

3回目

2016年
10月15日(土)

「エクスカージョン&想いの 整理・確認ワークショップ」@塩竈

自分の想いを整理したシートをもとに、受講生が想いやプランの発表を行いました。1回目と比べると内容が具体的になり、さらに他の受講生や久保田さんからのコメントを受けて気づいたことも多かったようです。

受講生の発表に対して、久保田さんや他の受講生がアドバイスや感想、励ましなどをフィードバックします。



後半は、ゲストの狩野真由美さん(合同会社トリプルワン)代志からのお話「行動して出た人々のつながりは財産。やりたいことの変化を楽しんでい」などの言葉をいただきました。

詳しくは「たがさぼ Press 2016年10月23日(日)」

4回目

2016年
12月17日(土)

「エクスカージョン&プランを 深めるディスカッション」@多賀城

この頃には、プランの一部を実践に移す受講者も出てきます。「やってみてこうだった」を踏まえて、プランはさらに深まってきました。また、受講生が関わるイベントを他の受講生が手伝うなどコラボレーションも生まれはじめました。

ゲストは今回会場をお借りした「タガの柵」の松村正志さん。多賀城で活動をはじめたきっかけや、自分の柵での取り組みについてお聞きしました。



講座前には松村さんの柵で、史跡「タガの柵」も伺いました。

詳しくは「たがさぼ Press 2016年12月26日(月)」

そして…マイアプローチ
発表会へ！表面へGO！

想いをかたちにしていく2つのポイント

1. 自分を 見つめ直す

自分の想いに関して、「そもそもなぜそうしたいと思ったのか?」「自分ができることは何なのか?」を突きつめることで、目的や必要性、対象、まずやることを明確にします。紙などに書き出すことも効果的です。

2. 想いを言葉 にして伝える

「受講前はやりたいことの輪郭があいまいだったけど、話すことではっきり見えてきた」とは、受講生からの感想。話すことで想いを整理できるとともに、聞いた人が「応援しよう」「一緒にやろう」となることも。また関連して、「自分の想いや考えを話せる場が心地よかった」との感想もありました。

今年度の「TAGAJO Future Labo」は終わりましたが、たがさぼでは引き続き「地域で〇〇したい」という想いの整理や深掘りのサポートを行っています。「想いを整理したい」方、「想いをアクションにつなげたい」という方は、ぜひご来館ください。



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぼ」ではツイッターもやります。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぼ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>